

高支持率でも波乱含みの高市政権

時事通信社解説委員 山田 恵資



- *まだまだ続きそうな高市フィーバーと「連結政権」
- *積極財政という名の18兆円
- *日程調整も抱え込む高市さん
- *「どう考えても存立危機事態になり得る」発言の衝撃
- *安倍さんは言質を取られないようにしていた
- *日中共同声明の遵守は解決策の一つ
- *今後の政界再編とポスト高市
- *中国とのパイプ役や外交ブレーンの欠如
- *永田町で言われる営業右翼、営業リベラル

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

それでは、今日の講師をご紹介します。時事通信社解説委員、元政治部長の山田恵資さんに来ていただきました。皆様ご承知のように、今年7月の参院選以降、日本の政治は非常に激しい動きをしています。経済倶楽部としてもいつもより頻繁に政治問題の専門家の方をお招きしており、今日は山田先生に来ていただいたということがあります。

高市政権は非常に高い支持率を得ています。先日は維新の会から除名された3名を自民党派に入れて衆院のほうは過半数を維持するとうい、ある意味ですごく大きな出来事がありました。公明党離脱も非常に大きな変化だったわけですが、急ごしらえでそういう体制をつくっ

ていつている。

また、大きな補正予算を組みまして、全体にはいけいけ路線といいますが、正面突破の路線で進めようとしています。背景には高い支持率もあると思います。その辺、来年に向けて日本の政治がどうなるのか、政局がどうなるのか、高市政権の高い支持率はこのままいくのか、今日は少し過去のことでも振り返りながら山田さんにご解説いただきたいと思っています。

それでは、よろしくお願ひします。（拍手）

山田 時事通信の山田でございます。ご紹介にありましたように、高市内閣は支持率が非常に高い。各社調べの内閣支持率（図表1）が74%、68%、75・4%、64・4%、71%です。先日本S11で高市さんの就任1カ月ということ